

平成30年度

学校自己評価報告書

学校法人浅ノ川学園
金沢看護専門学校

1. 学校の教育目標

本校は、教育基本法及び学校教育法並びに保健師助産師看護師法の本旨に則り、看護師としての必要な知識・技術及び態度を習得させ、社会に貢献し得る有能な人材を育成するための専門教育を行うことを目的としています。

2. 平成 30 年度に定めた重点的に取り組むべき目標と結果報告

【看護学科の目標】

- ①入学定員充足率 100%を維持する。
- ②国家試験合格率 100%を目指す。
- ③教員の教育力向上につながる研修への積極的に参加する。

【各目標に対する具体的な手立てと報告】

- ①入学定員充足率 100%を維持する。
 - 1) 石川県内の高等学校に本校の特色を知っていただくため、学校訪問を行ったり、学校紹介に繋がるイベント等に積極的に参加した。
 - 2) オープンキャンパスやイベント参加により、入学志願者への直接アピールをしたこともあり、本年度も入学定員充足率 100%を維持した。
- ②国家試験合格率 100%を目指す。
 - 1) 看護師国家試験合格率 100%を達成した。
 - 2) 学年担任が主となり国試対策計画を立案した。模擬試験の活用、内・外部講師による国試対策講座、学習状況の把握をし、必要に応じて個別にアドバイスやサポート行うことなどの国家試験対策を実施した。
- ③教員の教育力向上につながる研修への積極的に参加する。
 - 1) 各教員が自発的かつ計画的に学会などに参加し、資料の共有、教務会議で報告するなどし、教員全体の教育力 向上に努めた。

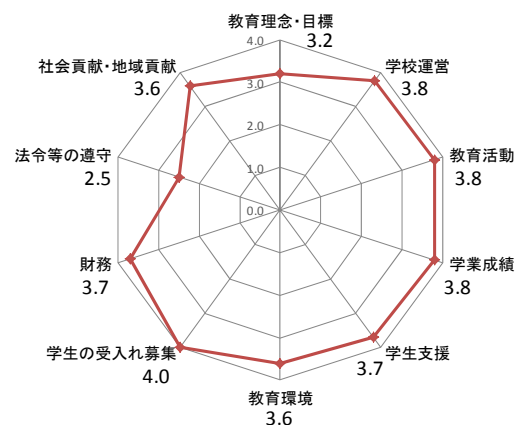
3. 評価項目の達成状況及び取り組み目標や計画について

* 自己評価点は以下のとおりである。

適切・・・4、 ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、 不適切・・・1

平成30年度 自己評価点

	項目	自己評価点
1	教育理念・目標	3.2
2	学校運営	3.8
3	教育活動	3.8
4	学業成績	3.8
5	学生支援	3.7
6	教育環境	3.6
7	学生の受入れ募集	4.0
8	財務	3.7
9	法令等の遵守	2.5
10	社会貢献・地域貢献	3.6



(1) 教育理念・目標

	評価項目	自己評価点
1	学校の理念・目標・育成人材像は定められているか	4
2	学校における職業教育その他の教育指導等の特色は定められているか	3
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
4	学校の理念・目標・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
5	学科の教育目標、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	3
平均		3.2

教育理念は、社会に貢献できる看護師の育成を目的に、人間愛に基づく生命を尊重する心、科学的思考に基づく看護の実践力、専門職としての自己の責務を自覚し、社会の変化に対応できる看護師を育成することを目標としている。とくに専門職業人を目指す者としての自覚を持ち、自ら学び続ける基礎的能力を養うことに尽力している。

学校の教育理念・目的・教育目標・育成人材像などは実習指導者会議等で説明し共有を図っている。在校生には式典、ホームルーム、高校生には進学ガイダンスやオープンキャンパス、保護者には式典、就職説明会などで説明し理解を得るようにしている。

医療法人グループ内の看護管理者会議、また看護協会の施設長会議等で看護学生の現状報告、学生へのニーズに関する情報交換などを行い、教職員の会議で情報を共有し必要な点については検討している。

(2) 学校運営

	評価項目	自己評価点
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか。有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか	3
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
8	情報システム等による業務の効率化が図られているか	4
平均		3.7

目的に沿った学校運営ができるよう、運営会議、職員会議にて必要事項について討議、決定事項の周知を実施している。

運営方針に沿った事業計画は期末評価を踏まえて次年度計画に反映され策定、理事会・評議会の承認を得て、教職員に提示、説明される。

人事・給与規程は整備されている。必要時、運営会議等で検討し改訂している。学生、教職員ともども、看護協会、地域の社会活動には積極的に参加し、専門職の責務を果たしている。教育活動等に関する情報公開はまだ十分に行えておらず今後の課題である。

(3) 教育活動

	評価項目	自己評価点
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実践されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な小公卿教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習)が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	2
8	情報システム等による業務の効率化が図られているか	4
9	成績評価・単位評価、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
	平均	3.8

(4) 学修成果

	評価項目	自己評価点
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の軽減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
	平均	3.8

医療法人グループ内への就職率は71.4%、県内県外施設への就職率は26.1%、進学2%、退学率、1学年7%であった。退学した学生は看護師の道に進むことに入学時より迷っており、新たな道へと舵取りをした。成績低迷者は担任の面談を行い、学習方法、悩み不安等に耳を傾け必要時アドバイスを行っている。

卒業生の資格取得情報を得、講師として招聘している。

市や消防署との連携で応急手当普及啓発活動にも参加していく予定である。

(5) 学生支援

	評価項目	自己評価点
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4

3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3
平均		3.7

進路・就職に関しては1年次から毎年就職説明会を開催し、適性を踏まえ、相談・支援を実施している。

日本学生支援機構奨学金や公的奨学金の制度を利用できるよう周知や事務手続きなど支援している。

成績低迷者、学習態度等に問題がある学生に関して、保護者と連絡を取り、面談、学生の指導を行っている。

卒業生で国家試験不合格者に関しては国試対策などでサポートしている。

年に一度健康診断、インフルエンザワクチン施注を計画的に実施している。

(6) 教育環境

	評価項目	自己評価点
1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
3	防災に対する体制は整備されているか	4
平均		3.6

教育上必要な施設・設備は十分に整備されている。

実習施設は学校の近隣で、医療法人グループの施設でほぼ確保できている。実習施設は卒業生も沢山看護師として勤務しており、また認定看護師等の資格を取得し活躍している。

防災に関しては春・秋に市の防災担当者、消防署の協力を得て防災訓練を実施している。今秋は最近多い、豪雨による水害を想定した防災訓練を実施した。学生・職員は安否確認メールの受信を確認して防災訓練を終了した。

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己評価点
1	学生募集活動は適正に行われているか	4
2	学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
平均		4.0

マイナビ進路ガイダンス、高校単位で開催される進路ガイダンスに積極的に参加し、看護師希望者に対し、看護師の道、専門学校卒業時得られる資格、キャリアアップの道、今まで

の卒業生の就職先・キャリアアップについて説明した。

県内の高校訪問を計画的に行い、オープンキャンパス参加を促し、成果につながっている。
またオープンキャンパスに参加できない学生には随時対応している。

(8) 財務

	評価項目	自己評価点
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備は適正に行われているか	3
平均		3.7

長年、定員充足率 100%を継続しており、今後も学生数の確保に努め、中長期的安定につなげていく。

予算主義に則った運営に努めており、会計監査は監事により適切に行われている。
財務書類は事務に備置きしているが、ホームページへの掲載準備を進めている。

(9) 法令等の遵守

	評価項目	自己評価点
1	法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関しその保護のための対策がとられているか	3
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2
4	自己評価を公開しているか	1
平均		2.5

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己評価点
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励しているか	4
3	地域に関する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3
平均		3.6

近隣施設や地域の行事等で施設利用がなされている。

ボランティア募集案内は掲示し、手続きなどの支援をしている。